

意見交換会実施報告書

開催日時	平成26年11月11日(火) 午後6時30分～午後8時00分
開催場所	大町公民館分室
出席議員	小林 治男(責任者) 中牧 盛登(司会) 八木 聡(報告者) 勝野 富男(報告者) 和田 俊彦(記録者) 眞嶋 強志(記録者)
参加市民数	2人
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度決算の概要について ・議会における事務事業評価について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>決算について</p> <p>○発言1 広報おおまち等に掲載する決算の説明は貸借対照表にするなど市民に分かりやすくして欲しい。</p> <p>★回答1 行政側へ伝える。</p> <p>市職員の接客マナーについて</p> <p>○発言2 市職員の接客マナーは3年前より良くなったが、一般市民より相対的に高収入であるからマナーをもっと良くしてほしい。また、応対について研修を実施し、市民の声を吸い上げ効率化を図ってほしい。</p> <p>★回答2 行政側へ伝える。</p> <p>市の将来について</p> <p>○発言3 大町市の60周年ポスターやイベントのキャッチコピーが長すぎる。センスがない。市民は大町市の良さを知らなすぎる。大町市の特産物として冬の野菜(キャベツ、ホウレンソウ)の販売促進をしてはどうか。</p> <p>★回答3 ご意見として承る。</p> <p>○発言4 地場産の農産物の生産に、もっと力を入れたらどうか。たとえば麻や蚕など、伝統ある産業の復活を進めたらどうか。議員には、そういうことを導いてほしい。ふるさと納税についても、もっと工夫した宣伝をすべきである。農具川の整備をして、魚介類、ホタル、トンボの生育を図ってはどうか。北アルプスの景色や王子神社を活かして、北大町駅をスタート地点とした街の再開発をしてはどう</p>

	<p>か。大町市の宣伝の仕方として、県外在住の出身者の人脈から交流を深めてはどうか。</p> <p>★回答4 大切な提言をいただいた。市は、市長公約でもある第4次総合計画によって事業を進めている。提言されたものも含まれているので、検討をしていきたい。</p> <p>定住促進について</p> <p>○発言5 大町市の魅力の伝え方がよくない。やり方によって、移住者・定住者は増加するはずである。農地の利用促進も視野に入れ、農業従事者の移住も積極的に行うべきである。</p> <p>★回答5 第4次総合計画で移住・定住促進事業を実施している。Iターンが増加しているし、空き家も注目されてきている。また地場産業の宣伝も、県の銀座にオープンした施設でも行っている。</p> <p>○発言6 大町を出て行く主な理由は積雪である。雪を流せる水路が整備されれば便利である。市の職員が現役中に市外へ住居を移すことは、やめてほしい。アルピナウォーターのボトルや、車両に大町の景色を入れてほしい。</p> <p>★回答6 除雪した雪を流すための水路について、一中から東へ工事を予定している。アルピナウォーターには、お願いをしているが、起業当初からのイメージもあるので、早急には実現できないようだ。職員のごことは行政に伝える。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成26年12月25日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 小林 治 男 ㊞